

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		老人医療レセプト点検事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連								
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康							
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	松岡将司							
	基本事業	46	保険医療制度等の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線)	2116							
法令根拠		老人保健法														
予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	12	事業連番	-	<input checked="" type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	-	コスト削減優先度評価結果	-
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		58	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~	年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)																
【事業の内容】・老人医療事業 老人医療受給者への受給者証等の交付及び医療費適正化を図るためのレセプト点検嘱託員報酬や国保連合会共同電算処理委託が主なものである。なお、当該事業は法改正により平成19年度までの事業となり、平成20年度からは「後期高齢者医療制度」が開始されるため、平成20年度以降の事業費は後期高齢者医療準備事業に計上している。 【業務の流れ】・医療費の支払い(毎月)・受給者資格異動処理・レセプト点検(毎月) 【主な予算費目】報酬、需用費、役員費、委託料等																

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 老人医療制度が昨年の4月より、廃止されたため本年度はレセプト点検は行わない。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 レセプト	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア レセプト件数 件 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・医療費の適正化を図る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア レセプト点検対象件数 件 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・保険医療制度が適切に運営されている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア レセプト点検実施件数 件 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 一般会計からの繰入額 円 イ 保険給付に占める保険料比率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	5,608	6,728	1,600	1,552	15	15		0
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	5	4	2	2				
		延べ業務時間	時間	1,865	1,140	32	32				
(B)人件費計		千円	7,404	4,537	127	127	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,012	11,265	1,727	1,679	15	15	0		
活動指標	ア イ	件	127410	124899	15000	12750	500	50	3		
対象指標	ア イ	件	127410	124899	15000	12750	500	50	3		
成果指標	ア イ	件									
上位成果指標	ア イ	円 %									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・老人医療制度については、昭和58年2月に老人保健法が施行され現在まで事業を行っている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・老人医療制度については、平成19年度までの事業であり、「老人保健法」に基づいて事業を実施している。
医療費は年々高騰する傾向にあり、医療保険制度を堅持するためにも医療費の適正化に向けた、各種事業に取り組む必要がある。
・「老人保健法」に変わり、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき平成20年度から後期高齢者医療制度が開始される。
老人医療のレセプト点検嘱託職員は平成20年10月より、雇止めを行った。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・患者負担(一部負担金)の割合が2割から3割に改正されたことにより、負担増となっている。

事務事業名	老人医療レセプト点検事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の医療費の適正化を図ることによって、保険医療制度が適切に運営されるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ・老人保健法に基づき、実施しなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 平成19年度で老人医療は廃止された。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 平成20年度より、後期高齢者医療広域連合が事務を引き継ぐため。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 後期高齢者医療広域連合は民間に委託した。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業を廃止することによって、事業費の削減を図る。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業を廃止することによって、事業費の削減を図る。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成20年度より、後期高齢者医療広域連合が事務を引き継ぐため、事業を廃止することによって、事業費の削減を図る。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)